

顕 彰 状

大島劫氏は、1930年8月6日に生まれた。戦後間もない1948年に第二早稲田高等学院に学び、第一政治経済学部経済学科に進学した。空手部在籍中に松涛館の開祖である船越義珍師範に直接教えを受け、抜群の力量を示し、4年生では主将を務め、1953年3月に卒業した。

氏は早稲田大学卒業後も空手の修行を続けたが、1956年に南カリフォルニア大学大学院へ留学のため渡米した。同大学院在籍中の1956年に、海外における最初の空手団体となる南カリフォルニア空手同好会を結成した。その後、本格的に空手の指導に邁進し、1957年にはカリフォルニア工科大学に海外初の大学空手部を創設し、長期にわたり同大学の講師を務めた。

その後、アメリカ合衆国のみならず、カナダならびにヨーロッパ、中東、アフリカ方面においても広く空手道の普及に励み、1964年のフランス松涛館設立以来、現在ではイスラエル、スイス、カナダ、スペイン、ベルギー、ドイツ、ギリシャ、オランダ、オランダ領キュラソ、モロッコ、ガボン、香港等アメリカ合衆国を含め実に17カ国と2地域に松涛館を設立し、日本の武道と空手の精神を世界へ普及することに貢献している。氏が過去に空手の指導をした者の数は60万人に及び、現在も指導を受けている者は1万5千人に達し、その中には有段者約5500名が含まれる。

氏の空手の指導は単に技の完成のみでなく、空手を通じ世界中どこでも個人の人格が完成されることを目指すものとし、例えば教え子となる各国松涛館のメンバーには、前駐日イスラエル大使や大学教授を含む博士号取得者が約500名を数えている。これらの教え子たちが人間として成長し、生涯を通じて自己の仕事の傍らで空手の稽古をたゆまず続けていることから、氏が単に格闘技としての空手ではなく、武道としての空手道を教え、日本の文化を伝える指導者であることを証明している。

氏が英訳した船越義珍著『空手道教範』は1973年に刊行後、さらにフランス語版、スペイン語版も発刊され、日本の空手とその精神を世界に普及させている。また現在でも早稲田大学空手部を毎年のように訪れては部員の指導を行っている。

ここに早稲田大学は、空手道という日本武道を世界に普及させ、その過程を通じて多くの優れた人材を育ててきた功績と早稲田大学への永年にわたる功績と献身に対して、大島劫氏を早稲田大学スポーツ功労者として表彰し、その名誉を永く讃えるものである。

2008年4月1日

早 稲 田 大 学